

優良現場の紹介

1. 表彰年度：平成27年度
2. 事業場名：鹿島建設・大林組特定建設工事共同企業体 外環国分工事事務所
3. 工事名：東京外環自動車道 国分工事
4. 発注者名：東日本高速道路株式会社 関東支社

5. 工事概要：東京外かく環状道路は都心から半径約15kmを結ぶ約85kmの幹線道路で首都圏の交通緩和や円滑な交通NWの実現を目的としている。今工事は千葉県区間の工事で中央部にスリットを設けた掘割構造の開削トンネルである。

6. 埋設管状況：道路横断部の埋設管路を再整備して、ガス管φ50～200mm 水道管50～300mm1000mm 都市下水□1600*3000mm の他、NTT、電力、CATVなど多数の埋設物を切廻し・防護協議され、工事区域に平行して架空線の整備も実施している。

施工場所：千葉県市川市国分



7. 表彰の対象となった具体的内容

- 1) 専任の埋設物管理責任者を配置して、発注者、埋設管理者との協議、調査、立会い及び埋設物防護措置が確実に実施されている。また、工事の施工についても施工方法や作業手順について埋設物管理責任者の確認のうえ工事が実施されている。また、店社パトロールでの埋設物状況の確認記録欄がパトロール表にあり、埋設物防護に対する取り組みが店社一体で行われている。
- 2) 多種、多様な埋設物に対しそれぞれの埋設物管理者と協議を重ね、全箇所を試掘による確認を行い、切廻しや移設が可能な埋設管は別ルートに移設埋設してリスク回避を行っている。工事施工部の開削部に残地せざるを得ない埋設管は適切かつ確実な防護処置を施して安全に施工を実施している。また、防護管に対しては点検通路が設置され緊急時の備えも万全である。
- 3) 作業打合せボードに埋設物や架空線有無の表記欄を設けて工事関係者全員で埋設管に対する注意意識を喚起している。また、作業打合せボード上部にハザードマップを表示して、工事の進捗や作業状況の変化に合わせて更新され、作業ごとの埋設物位置状況など日々の作業打合せにおいても埋設物事故防止活動意識が充実している。
- 4) 教育面では、日建連の地下埋設物事故防止講習会に加え、他団体の講習会に参加するほかNTT等の埋設管理者から講師を招いて、埋設事故防止安全教育を開催するなど、工事事務所全体で埋設物等損傷事故防止意識の高揚に取り組んでいる。また、緊急時の備えも緊急連絡網とともに現場の特性合わせた「ルールブック」を作成して工事事務所全体で緊急時に備える体制が整っている。